

むらやま 議会だより



写真／夏の子ども祭りにて

もくじ

- ◎ 9月定例会…………… P 2～3
- ◎ 決算特別委員会…………… P 4
- ◎ 予算特別委員会・議会改革特別委員会… P 5
- ◎ 一般質問…………… P 6～9
- ◎ 議会活動レポート…………… P 10～11
- ◎ 市民の声…………… P 12



←携帯からはコチラ



9月
定例会

52万円 67万円 を認定

令

和5年第4回定例会は8月28日から9月14日までの会期で開催され、令和4年度決算などの審議を行いました。

一般会計では、子育て応援定住促進対策事業、にぎわい創造活性化施設整備事業、コロナウイルス感染症に伴う事業、道路新設改良事業、楯岡まちなか再生整備事業などで、前年度に比べて歳入で約836万円、歳出で588万円の減額となりました。

条例の改正など19件が提案され、一般会計補正予算、特別会計補正予算2件、決算7件は特別委員会に付託し、全議案原案のとおり認定・可決し閉会しました。

●歳出

ふるさとづくり応援寄附金推進事業

10億9257万円

寄附いただいた方に特産品を返礼品として送り、市の魅力を発信しました。プロモーション業務を委託し、専門的な知見による助言や広報活動の効果などにより、前年度比2億5504万円増加となりました。

住宅リフォーム支援事業

3937万円

住宅のリフォーム工事などの促進による住環境の整備、定住の促進および建築関連業界の振興を図るため、補助金を交付したものです。

子育て応援定住促進対策事業

8067万円

定住人口の拡大および地域経済の活性化を目的

令和4年度

決算のポイント

●歳入

市税 24億4093万円

固定資産税において、新型コロナウイルス感染症の影響により一定以上売上げが減少した中小事業者に対する軽減措置が終了したことから、個人市民税において課税所得者の増加などにより前年度比8083万円増加となりました。

地方交付税

54億370万円

前年度比2億1974万

に住宅の新築、新築建売住宅・土地付中古住宅の購入、住宅新築のための土地購入者を対象に、子育て応援・定住促進事業補助金を交付したものです。

今こそ地元・生活応援商品券事業 1億8201万円

5月、12月の2回にわたり、1人当たり1セット3000円分の商品券を市民全員に配布。75歳以上高齢

円減少となりました。

国庫支出金

21億9990万円

前年度比5億1454万円減少となりました。

県支出金 9億726万円

農林水産事業費・災害復旧費県補助金などの減少により3億9291万円減少となりました。

寄附金 20億8518万円

ふるさとづくり応援寄附金が初めて20億円超えとなり、前年度比2億4994万円増加となりました。

者、高校生以下、生活保護受給者1人1セット追加配布とし2回実施したものです。

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業 8905万円

エネルギー価格高騰による家計への負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対する生活支援策として、住民税非課税

令和4年度
一般会計決算総額
特別会計決算総額

171億4,8
63億7,6



令和4年7月オープンし賑わうLink MURAYAMA

世帯などに現金を支給したものです。

企業立地補助金
869万円

企業の立地、設備投資を促進するため、市内に店舗、設備などを新設・増設した事業者に補助金を交付したものです。

楯岡まちなか再生整備事業
5億8070万円

楯岡地区（第2期）都市再生整備計画に基づく街路や道路などの事業を実施したものです。

議決結果一覧		
議案番号	件名	結果
議第48号	令和4年度村山市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
議第49号	令和4年度村山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
議第50号	令和4年度村山市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
議第51号	令和4年度村山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
議第52号	令和4年度村山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定（全会一致）
議第53号	令和4年度村山市水道事業会計決算の認定について	認定（全会一致）
議第54号	令和4年度村山市下水道事業会計決算の認定について	認定（全会一致）
議第55号	村山市市民センター条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第56号	村山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第57号	村山市職員定数条例の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
議第58号	村山市ふれあいセンター条例を廃止する条例について	可決（全会一致）
議第59号	令和5年度村山市一般会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
議第60号	令和5年度村山市財産区特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議第61号	令和5年度村山市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
議第62号	財産の取得について	可決（全会一致）
議第63号	市道路線の認定について	可決（全会一致）
議第64号	監査委員の選任について	同意（全会一致）
議第65号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意（全会一致）
議第66号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意（全会一致）
請願第2号	食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願	採択（全会一致）

令和4年度 決算特別委員会

決算特別委員会は、本会議において設置され、付託された議案は、令和4年度一般会計歳入歳出決算1件と国民健康保険事業などの特別会計決算6件です。

各分科会での「議員の指摘」を掲載しました。

総務文教分科会

●ふるさとづくり応援
寄附金については、民間へのプロモーション業務委託の効果などにより、過去最高の寄附額に結びついたことを高く評価します。市の事業の重要な財源であり、引き続き高い寄附額を維持できるよう要望します。

●「Link MURAYAMA」については、県内初の県立高校をリノベーションした施設として注目度も高く、オープン後には入居スペースが全て埋まるなど、順調な滑り出しを見せています。今後は、飴葉プラザや商店街も含めた中心市街地のさらなる活性化が図られるよう要望します。

●地域防災対策について

ては、「ハザードマップ」の作成や「マイ・タイムライン」の周知など、市民に向けたさまざまな情報提供を行っています。各家庭や自主防災組織における防災対策に結びついていない現状にあります。今後は、積極的な出前講座など周知を図り、住民の防災意識の向上や地域全体での防災対策の実施に結びつけていくよう要望します。

●救急出動数については、近年増加傾向にあり、昨年度は過去最高の出動件数との報告がありました。そのような中で、懸命に対応に当たる職員には敬意を表すと共に、今後とも安定的に救急出動が可能となるよう、職員体

●農地利用最適化推進委員の活動により、遊休農地の解消や農業への新規参入への促進が確実に図られている状況です。また、農地が荒廃する前の対策も重要と考えますので関係

制については特段の配慮を要望します。また、地域防災力の核となる消防団員の確保については、一層の強化を要望します。

●自治公民館整備事業については、近年の異常な暑さによりエアコンを設置する公民館が増えています。補助要件の緩和はされていますが、自治会の負担がさらに軽減されるよう、補助率の拡大などについても検討されるよう要望します。

産業厚生分科会

課と連携して検討されることを要望します。

●本市の子育て支援策は、保護者だけでなく県内外から評価、注目されていると考えます。その一つである中学校入学応援券は、入学準備に役立ち、保護者の経済的な負担を緩和しています。本事業をより有効に利用してもらうためにも、利用期限の延長についての検討を要望します。

●産後ケア事業は、出産した方に寄り添い、相談できる環境を整えるために重要なものと考えられます。今後とも対象となる方への周知徹底を要望します。

●重点作物の一つであるサクラソノは、農業者の高齢化などにより、作り手が減少傾向にある

ります。重点作物としての取組戦略について、再構築していく必要があると考えます。また、重要な担い手となる新規就農者の確保・定着については、目標を持ちながら計画的に取り組まれることを要望します。

●市道の延長に併せ、除雪路線も延長している状況です。除雪オペレーター養成方法を検討しながら、地域住民との対話を踏まえた除雪不要路線を見極め、現体制でも実施可能で効率的な除雪事業になることを要望します。

●駅西開発については商業施設・企業誘致を促進する重要な事業であります。確実な事業着手に向けた課題解決を要望します。

予算特別委員会

4億2,107万円を追加し、168億6,921万円

補正予算のポイント

除雪事業 2億2380万円

除雪委託料総額を、4億2000万円とし、例年の実績額も確保するものです。

福祉暖房費助成事業 2781万円

すべての非課税世帯と均等割のみ課税世帯を対象に、1世帯あたり1万円を支給するものです。

農林業緊急支援対策事業 811万円

肥料と畜産農家の飼料について、かかり増し経費の一部を補助するものです。

子育て支援医療給付事業 205万円

高校生の外来診療への対象拡大に向けた準備経費です。

県立村山産業高校の県外生徒募集事業 132万円

令和6年度から県外生徒を受け入れるためのPRや準備経費です。

債務負担行為

小学校ほか給食調理業務委託料 2億8500万円

令和6年度からの業務委託は小学校7校と認定こども園1園の業務を一括して業者を決定します。

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会を9月定例会の報告をもって解散しました。

委員長 高橋菜穂子 副委員長 結城 正



～議会改革特別委員会 これまでの経過～

- R 4
12/16 幹事会の設置、今後の進め方を協議
- R 5
1/12 スケジュール確認、議員定数について委員間討議
1/17 有識者によるオンライン講義
1/30 意見聴取会の運営などを協議
2/4 市民意見聴取会（議会改革市民カフェ）
2/16 意見聴取会のまとめ、議員定数について委員間討議
2/27 意見聴取会のアンケート結果などを共有
議員定数について委員間討議
3/3 議員定数について委員間討議
3/9 「適正な議員定数について」を議場で採決
3/22 委員会の検討結果を議場で報告
6/15 広報広聴委員会の設置、常任委員会活動の充実
7/24 ワールドカフェを開催、改革と活性化のために取り上げていくべき項目などについて意見交換
8/7 奥州市議会における議会改革の実践についてオンラインによる行政視察
8/21 活性化委員会設置規程、政策立案等ガイドラインについて協議
8/28 検討結果報告の確認
9/5 委員会の検討結果を議場で報告

※このほかに19回の幹事会を開催

検討結果

1 適正な議員定数について

委員会中心主義と、本市の現状や近隣市町の状況などにより、議員定数を16から1減の15に決定。

2 常任委員会活動の充実について

常任委員会ことの審

3 広報広聴委員会の設置について

村山市議会だより編集委員会を、村山市議会広報広聴委員会に改め、議会だよりに併せ

4 議会改革と活性化を継続的に取り組むための組織作りについて

村山市議会活性化委員会を設置し、市議会活性化と改革に関する協議・検討を行う。

議を充実させるために、政策立案などに関するガイドライン（案）に基づいて、政策提言を目標として委員会活動を充実する。

て、広報の在り方を検討し、広聴活動にも一体的に取り組むこととする。



細矢 清隆

持続可能な農業とは

答弁 若者のニーズに

応えていきたい

動画はこちら



Q 環境に配慮し、かつ農業生産者に利益をもたらす農業を行うにはどのような取り組みが必要か。

A 環境に配慮した土壌問題では、果樹の剪定枝を活用し、チップ化あるいは炭にして土壌にすり込んで、CO₂の発生を抑える方向で進める。農業については、防除暦に基づいて散布する。突発的に病害虫が発生した場合には場全域に散布するのが現状。必要箇所に必要な量を散布するピンポイント防除も課題としてあげられる。

除草剤については、成分量が土中や水中に堆積し、環境汚染を引き起こすので使用方法について配慮が必要。



環境保全型農業の取り組み

また、水稻の除草作業の効率化を図る技術導入も必要と考える。スマート農業では作業の省力化や効率性を高め、肥料や農薬の散布にドローンの活用が行われている。国の方針は、令和3年5月にみどりの食料システム戦略を決定、公表し生産力の向上と持続性の両

立を技術開発、イノベーションで実現する戦略となっている。国の環境保全型農業、直接支払い交付金を活用した、農薬や化学肥料の削減の取り組みを支援していきたい。

その他の質問
・ 駅西開発について



吉田 創

戸建賃貸住宅

整備補助金の創設を

答弁 70㎡以上について

補助金を考えていく

動画はこちら



Q 新・道の駅として「何を」作りたいのか。

A 道の駅自体が目的地になり、地域の方にも来ていただける施設にしたい。

Q Link MUR AYAAMA敷地内にある旧榎高会館とグラウンドの今後の活用は。

A 旧榎高会館を借りたいと2社、グラウンドを利用したいと1社から問い合わせがある。採算を考えながら取り組んでいく。

Q 市道本郷通り線は完成したとしても榎岡小学校まで開通しない。今後開通する計画や予定はないのか。

A 市道本郷通り線は完成したとしても榎岡小学校まで開通しない。今後開通する計画や予定はないのか。



今後の活用が望まれる旧榎高会館とグラウンド

A 考えなければいけない時期に来ていいる。調査が必要である。

Q 若い世帯の方々が「一戸建て賃貸住宅を探しているが、あまりない」「村山市に住みたいが、市外に住まなければならない」というお話を聞きます。そのようなことから、民間の方々に開発を促すために「戸

建賃貸住宅整備補助金」を創設してはどうか。

A 一戸建て賃貸住宅がないという話は聞いている。一戸建てや集合住宅70㎡以上について補助金を考えていく。需要がどのくらいあるか調査が必要。また、雇用促進住宅で、2つの部屋を1つに出来ないか研究中である。



田中 正信

投票率の向上について

答弁 重要な課題であり
前向きに取り組む

動画はこちら



Q 選挙を棄権することとは、憲法で保障されている権利を放棄することである。投票率向上に向け、啓発活動を一層強化していただきたい。

A これまで、地域の実情に合ったさまざまな運動を行ってきた。今後一層研究したい。

Q 全国的に若年層の投票率は低い。18歳から29歳までを対象に、啓発ハガキを送付してはどうか。

A 18歳になった方には選挙制度と投票を呼びかけるお知らせを送っている。この対応を継続しながら、より効果的な方法を検討していく。

Q 「小中学生、保護者と一緒に投票所に行こう」キャンペーンを実施してはどうか。

うか。

A 親子が集まるイベントで啓発を行った。さまざまな機会を利用し、効果的な啓発を行っていく。

Q 「選挙公報」は時間との勝負である。早期配付に向け、市と地域が一丸となり取り組んでいただきたい。

A 地区代表、役員の皆さまに大変なご理解、ご協力をいただき感謝している。今後も引き続き協力をお願い

いしていきたい。

Q 今年4月、本市の県議会議員選挙投票率は、県内トップだが、さらなる向上に向け取り組んでいただきたい。

A 有権者が政治にもっと関心を持ち、政治と有権者の距離が縮まることが必要。一層研究していきたい。

その他の質問
・環境の保全について



令和4年度明るい選挙啓発ポスターコンクール
県審査特選 村山産業高等学校 3年
奥山綾香さん（令和4年度当時）
おくやまあや か



阿部 正任

交通弱者への外出支援策の改善を望む

答弁 状況を見て対応していく

動画はこちら



Q 通学する学生や交通手段のない高齢者などの外出支援として市営バスがある。昨年度より、時間帯の見直しやバス停の増設、フリーストップ乗降区間などの改善をしているが、乗車率の低い便が見受けられる。現在の市営バス4路線の利用状況はどうか。

A 市営バスの小型化を含め、検討する。社会福祉協議会で行っている外出支援、買い物支援「かーうー号」は好評で利用者も増えている。さらなる支援をお願いする。

Q 市営バスの小型化を含め、検討する。社会福祉協議会で行っている外出支援

その他の質問
・空き家対策について



買い物支援サービス「かーうー号」



高橋 菜穂子

高校生の通学支援について

答弁 必要な支援をしていく

動画はこちら



Q 高校生の通院時の医療費無料化の実施について伺う。また、24年度から政府において少子化対策として児童手当が18歳まで拡充される。本市においては、がんばる高校生応援事業として5万円を支給してきたが、今後はどのようにする方針か。高校生まで安心して子育てできる環境として、通学に対する支援が必要であると考え。例えば、通学定期券購入への補助についても検討してはどうか。

子世帯についても利用可能なように、所得制限を引き上げるなど制度改正を求めたい。

A 検討したい。

Q 子宮頸がんワクチンについて、現在キャッチアップ接種中であるが、子宮頸がんワクチンは男性の中間頭がんや肛門がんなど

の病気の予防にも効果がある。パートナーの命と健康と自身の健康を守ることを目的として、男性の接種への助成を行うべきではないか。

A まずは、女性の接種率を上げること優先して取り組んでいきたい。

Q 本市独自の奨学金制度について、多



高校通学に利用の多い村山駅



高橋 卯任

登下校時の熱中症対策の強化を

答弁

対策として必要なことを適切に対応していく

動画はこちら



Q 近年の異常気象により猛暑が続く、それに伴い熱中症で救急搬送される人が激増している。「猛暑は災害」と認識する必要がある。猛暑の中を通学している子どもたちが心配である。市内小学生の通学の状況について伺う。

登校後・下校前の健康観察、下校時は暑さ指数値をもとに、安全な下校が可能と判断できるまで待機させるなどしている。各校の通学状況や実態に応じた対策を行っている。

Q 学校の目が届きにくい通学時のさら

なる対策が必要ではないか。

A 学校では危機管理の徹底、子どもたちには自分で自分の命を守る力が付くよう指導していきたい。登下校時の対策として必要なことに適切に対応していく。

Q 登下校時の熱中症対策について伺う。

A 軽装での通学、帽子、日傘、クールタオルの着用・使用、

学校生活で熱中症に注意したいポイント ～登下校編～



登下校中の熱中症予防のポイント
日本気象協会（2020資料）



中里 芳之

給食への有機農産物導入で 有機農業の推進を

答弁 有機農家が
増えれば考える

増えれば考える

動画はこちら



Q 気候危機のもと食料供給のあり方が問われている。国の政策も有機農業推進へ進み、新たな販路として学校給食を位置づけた。千葉県いすみ市では、市民を巻き込んだ環境保全に行政が積極的に取り組み、市立全小中学校で全量有機米使用を達成。①有機農業の推進にどう取り組むのか。②学校給食に本市産有機農産物の導入を。

A ①商売にするには難しい。②今後有機農家が増えれば考える。

Q 「何十年に一度」の豪雨災害が毎年発生。経験したことがない豪雨災害にいつ見舞われてもおかしくない。産廃処分場の増設

計画があるが、令和2年の豪雨ではあと一日80mm降っていれば、汚染水を処理しきれなくなったのではないかとどれくらい雨量だと処理しきれなくなるか行政として把握を。

A 処理しきれなくなっていることは想定しているが、調べる必要がある。

Q 東根市外二市一町共立衛生処理組合は焼却残渣を15年間アシスト産廃に埋めようとしている。まるで新規増設を前提とした計画ではないか。

A 組合は増設計画を知らないのだろう。



村山西部産業廃棄物最終処分場の全景



矢萩 浩次

チャットGPTに代表される 生成AIの可能性は

答弁 単純業務を自動化
効率化が可能

効率化が可能

動画はこちら



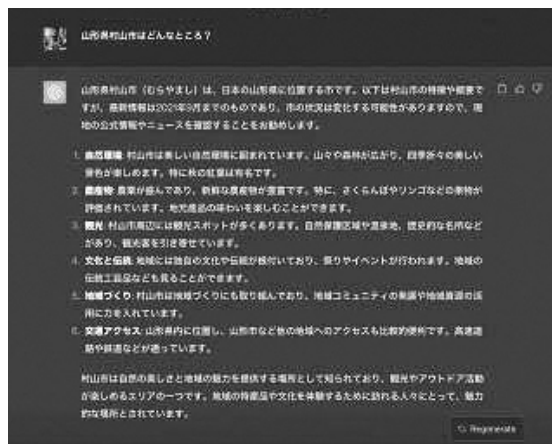
Q ※チャットGPTに代表される生成AIを活用する動きが自治体でも広まっている。膨大な文書作成など解析と生成が得意分野であり、市民からの電話相談などの分析や解析・対応の効率化・課題を効率的に把握し迅速な政策立案が可能、情報収集や文書自動作成などの効率化が見込まれる。また、議会答弁の作成支援も可能。生成AIへの取り組みについて、導入の目的と狙い、導入が目指すこと・目指せることを伺う。

A 7月より自治体向けに開発されたチャットGPTを使い、全職員が試行的に運用した。今後職員にアンケートを実施し、業務に活かせるか、導入が出来るかなど検討する。

Q 将来、半数の職員で自治体を支えるとの予測がある。少子高齢化に歯止めがかからないことを前提とすれば、生成AIによって職員を単純業務作業から解放し、人でなければ出来ない業務に集中できる環境を、早期に整えることが今後ますます重要である。生成AIは、この課題解決となる可能性が

A 職員は単純な作業をやっているわけではないが、生成AIにより単純な業務を自動化・効率化、職員が専門的な業務に集中し、質の高いサービスを提供することが期待できる。

その他の質問
・高齢者福祉介護保険制度について



「村山市はどんなところ？」と聞いたチャットGPT (GPT-3.5) の答え

総務文教常任委員会 管内視察

●8月4日

・Link MURA
YAMA

オープンから1年を迎えた運営状況を、地域プロジェクトマネージャーより説明を受けました。駐車場や中央広場など整備中の箇所もありますが、オープン後にピザ店とゲストハウスの開業など、4業者の入居もあり入居スペースが全て埋まりました。

利用者数も1年間で8万6千人と推計されています。そのうち約半数がアリーナを利用する子どもとその保護



リンク館内ピザ店

者で、またフィットネス会員の約半数は60代以上です。冬季のグラウンドゴルフの練習場としての高齢者の利用もあり、幅広い世代から利用されています。

また、中心市街地への人の流れや地域産業への波及を生む施策に取り組んでいました。

・Kiwa

代表の末永玲於氏より飲食店や宿泊者のシェアスペースとしての運営の説明を受けました。現在3店による昼夜日替わりの営業状況、スイカ収穫のシーズンワーカーが宿泊しているシェアハウスを視察しました。

産業厚生常任委員会 管内視察

●8月3日

・就労継続支援事業所
ピース楯岡

楯岡五日町で、就労継続支援（A型）と、就労移行支援を一体的に行っています。心身の状態に応じた

就労支援として、硬式野球ボールの製造や清掃活動などの生産活動、施設外就労、求職活動支援などが提供されています。視察時には、硬式球の製造作業を見させていただきましたが、いくつかある製造工程が、一人一人の能力に応じて割り当てられており、丁寧な作業により完成した製品は、縫目幅や縫目高などの細部の高いものでした。



野球ボール縫製作業のようす

・多機能型事業所
しよい

楯岡笛田の総合福祉支援センター内で、就労継続支援（B型）、就労移行支援、生活介護が行われており、電子機器の解体やタオル

印刷などの作業、就労に必要な知識や能力向上のための訓練、支援が提供されています。就労移行支援では、訓練の一環として北村山地域振興局一階売店の運営をしています。

視察後、障がい者の就労支援と農福連携事業について関係各課と意見交換を行い、今後の課題などを共有しました。

市政・公明クラブ 行政視察

●7月7日

・北海道釧路市

釧路市の人口は15万8千人ですが、人口減少が大きな悩みです。



アリーナ内用具格納庫

釧路市大規模運動公園内の「湿原の風アリーナ釧路」はドーム型のアリーナで（61m×46m）収容人数3016人、ほかにサブアリーナ、会議室、釧路湿原が一望できる展望室がありました。

・北海道釧路町

町では次の施策について重点的に取り組んでいます。

1. 奨学金の無利子貸付整備により進学を支援するとともに、義務教育時から経済的な理由で就学が困難な家庭への助成制度による支援を行っています。
2. 行政のこども家庭総合支援拠点、母子健康担当などの連携による子育て支援体制が利用者から好評を得ています。
3. 地元での就労意識の醸成と工業技術が継承されるよう取り組んでいます。

●7月11・12日

・愛知県長久手市

田園バレー構想については、大都市部に隣

接する町としてベッドタウン化が進み、宅地開発による農地の減少が進む中、交流施設あぐりん村や市民農園、農薬校などの多くの施策により幅広い年代の市民が自然と触れ合う空間づくりや農業の担い手の育成に取り組んでいます。



あぐりん村産地直売所

・愛知県名古屋市中区・豊田

小幡緑地、鞍ヶ池公園のPark PFIについては、両公園共に地元企業を含む企業体を形成し事業を行っていました。大企業が主体となる事で幅広いアイデア、安定した資金をベースに地元の中小企業の多様なアイデアを取り

議会活動

7月

- 1日 ブルガリア新体操演技披露会
- 3日 議会だより編集委員会
議会改革特別委員会幹事会
共立衛生処理組合議会運営委員会
- 4日 社会を明るくする運動メッセージ伝達式
葉山開発協議会総会及び葉山開き
議会運営委員会
- 6日 市政・公明クラブ行政視察（～9日）
北村山公立病院組合議会運営委員会
- 8日 厚岸町・村山市姉妹商工会締結30周年記念式典
- 10日 議会だより編集委員会
共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 11日 市政・公明クラブ行政視察（～13日）
- 12日 改革クラブ行政視察（～13日）
- 14日 北村山公立病院組合議会全員協議会・定例会
- 18日 議会だより編集委員会
- 24日 全員協議会・会派代表者会議
議会改革特別委員会
市経営者懇話会通常総会
- 26日 市政・公明クラブ行政視察（～28日）
主要地方道新庄次子村山線道路改良促進期成
同盟会総会

8月

- 2日 自衛隊協力会総会
議会改革特別委員会幹事会
- 3日 産業厚生常任委員会管内視察
- 4日 総務文教常任委員会管内視察
- 7日 議会改革特別委員会（オンライン行政視察）
会派代表者会議
- 9日 共立衛生処理組合議会運営委員会
- 10日 県市議会議長会議員研修会
- 15日 市戦没者追悼式
- 16日 議会改革特別委員会幹事会
- 17日 総務文教常任委員会協議会
北村山公立病院組合議会運営委員会
広域斎場事務組合議会運営委員会世話人会
- 18日 全員協議会・議会改革特別委員会
- 21日 会派代表者会議
共立衛生処理組合議会議員
全員協議会・臨時会
- 22日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
議会改革特別委員会幹事会
- 28日 全員協議会・本会議・決算特別委員会
予算特別委員会・議会改革特別委員会
- 29日 北村山公立病院組合議会全員協議会・臨時会
広域斎場事務組合議会全員協議会・定例会
- 30日 一般質問（～9月1日）

9月

- 2日 そば花まつり
- 3日 楯岡小学校創立150周年記念式典
- 5日 決算特別委員会・予算特別委員会
議会改革特別委員会
- 6日 常任委員会・決算分科会（～9月8日）
- 7日 秋のバラまつりオープニングセレモニー
- 10日 湯野沢熊野大祭
- 12日 決算分科会委員長会・常任委員長会
議会運営委員会
- 14日 全員協議会・決算特別委員会
予算特別委員会・本会議
- 15日 大久保小学校創立150周年記念式典
- 議会だより編集委員会
- 16日 国会議員との懇談会
- 17日 第7回最上川 S-mile マラソン
- 21日 水道祭・下水道祭
- 22日 議会だより編集委員会
- 27日 議会だより編集委員会

入れられるなど、得意分野を生かした「使ってもらおう公園」の姿が実現されていました。

●7月26～28日
・三重県木曽岬町

町全体を電波エリアとした地域BWAを活用した安全安心なまちづくりは、センサーや防犯カメラを設置し、防災・防犯・公共交通・子育てなどで実施。子ども見守りサービスは、センサーを児童に支給し町内での見守りを実現、自主運行バスの運行状況通知サービス、防犯カメラを設置

※地域BWA（Broadband Wireless Access） 地域広帯域移動無線アクセスシステム



木曽岬町役場からの眺望

した防犯対策、機械排水のまちは幹線排水路の水位状況確認が可能。次世代の安心安全なまちづくりのひとつであると思います。

※奥に見える木曽川と地盤面がほぼ同じ。海拔0mの町であることが見て取れる。

・三重県明和町

町のデジタル推進計画は、推進本部と推進委員会（チームDX）を設置しています。外部人材と各課からの選出委員で構成し、全庁的横断的な委員会は、検討・調整・連絡に最適であり、他の課題解決にも推進体制がうまく構築されています。

地域経済の活性化と好循環を目指すデジタル地域通貨「美村PAY」は4町共通キャッシュレス決済機能で、地域経済への効果が大きいに期待できるものです。

改革クラブ
行政視察

●7月12～13日
・群馬県南牧村

村の人口は1500人余り、高齢化率が67%を超え、日本で一番早く消滅する自治体」と言われています。その中で「市町村合併はしない」と言う村長の言葉に、過疎に対する取り組み（地域活性化、学校の在り方、移住促進、高齢者福祉など）について伺ってきました。

地元女性たちが、地元の味の伝承を目的に



地元の野菜、加工品が売られていた



山間にある道の駅「なんもく」

地域の加工品の移動販売から始まった「道の駅なんもく」。この村に多い若者移住者の雇用の場にもなっていました。

子どもをこの村で育てたいと思う移住者も多く、個々にある小中

学校に代わる学校として、地域の要となる防災避難所を兼ねた義務教育一貫校を新たに建設中でした。

高齢者には、地元で過ごせるように軽費老人ホーム設置にも取り組んでいました。

市民の声



さとう あづさ さん
(楯岡)

～未来ある農業で健康寿命をのばすことに期待～

体調や食生活から、食べ方バランスをアドバイスする望診診断士をしています。昔ながらの和食と*手当てを使ったアドバイスをしています。

元気塾小講座講師を担当させていただいたご縁で、市内で料理教室、手当て講座などを開催。Link MURAYAMA 2階で古材雑貨と自然食品の店『HENとお手当てや』を開き、カウンセリングなども行っています。

日々の仕事の中で、お米や新鮮な野菜を食べることで健康を取り戻す方を見てきて、農家の仕事の大切さを強く感じるようになりました。これからの長寿社会を生き抜くには、健康寿命を延ばすことに市政の未来がかかっていると思います。そんな健康寿命に深くかかわっている農業。担い手不足や高齢化問題に直面している農業ですが、若手や新規就農者支援など、市政には農業の未来を築くために継続的に頑張りたいと思います。

*手当て：身近にある食べ物を使った民間療法のこと



手当て講座



『HENとお手当てや』



環境と食のワークショップ

〈表紙写真〉

8月27日、市連合子ども会育成会が主催する「夏の子ども祭り」が市役所にて開催されました。

『はたらく車大集合』『工作体験』『屋台コーナー』など多くの企画が催され、大変多くの子どもで賑わっていました。



はたらく車大集合 !!



議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

石澤 祐一
菊池 貞好
田中 正信
阿部 正任
高橋 卯任
吉田 亮太
柴崎 亮太

あとがき

現体制による最後の議会だよりとなりました。
改選後は広報広聴委員会として、市政について情報収集、発信に取り組んでまいります。ぜひ、ご感想やご意見をお寄せください。
(柴崎)